

第2回ミュージアム・エデュケーター研修(後半日程)  
2013/2/7

# 中間課題発表

進行:新江ノ島水族館 植田 育男

## 中間課題成果発表 (105分間)の進め方

ガイダンス(7分)



グループ討議(48分)

1人当たりの持ち時間12分  
質疑応答・考案の時間を含む



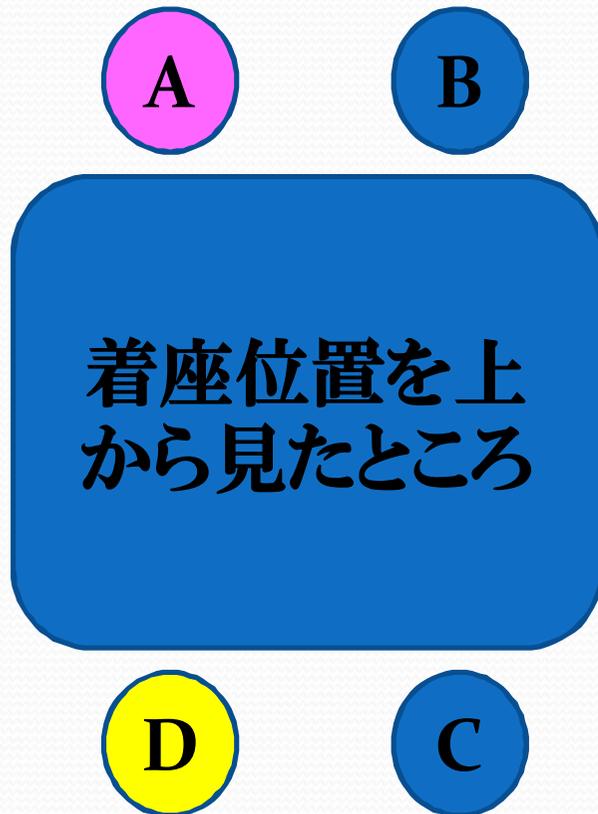
全体事例発表(2題 各15分)



全体質疑・まとめ(20分)

# グループ討議の進め方

## セッションA



グループ討議では、各人のプレゼン時に役割分担をする

**A:**  
プレゼンをする役

**D:**  
Aのプレゼン内容の質疑を仕切る役  
(Aのプレゼン全体のタイムキーピングも同時にこなす)

**B・C:**  
Aのプレゼン内容にコメントを出す役

セッションB 次の発表者に交代する



セッションC・Dは順次の発表者をC、Dへと交代し、  
質疑仕切役はB、Cへと代わっていく

## 各役割の心得

### プレゼン役:

- ①聞き手が理解できているか常に様子を見ながら話を進める
- ②決められた時間枠内で発表をまとめる
- ③質疑応答やコメンテーターのコメントから、自分の行った中間課題の優れている点、改良できる点を貪欲に見つける

### 質疑仕切役:

- ①プレゼン役が発表した中間課題について、出来るだけ多くの意見や考え方をプレゼン役が持ち帰られるよう最大限努力する
- ②自分の担当したプレゼン・コメント全体の時間をしっかりキープする

### コメンテーター:

- ①聞いたプレゼン内容に対して、あらゆる知識や経験を駆使してコメントする
- ②コメントするための質問もあり
- ③仕切役が時間枠内で充実した議論展開を行えるような協力をする

## 全体事例発表の進め方

モデルケースとして中間課題2題について、すでに発表をお願いしてあります。

この全体発表では、中間課題の内容発表に加え、グループ討議で得られたコメントと、それに対するプレゼン役自身の意見陳述を行っていただきます。

発表の持ち時間は**15分間**です。